単機関研究用

当院では、下記の臨床研究を実施しております。

本研究に関するご質問等がありましたら、下記当院の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象となる方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ます。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合にはご連絡いただければ研究対象としません。

記

研究機関名	地方独立行政法人　堺市立病院機構　堺市立総合医療センター
整理番号	26-621
研究の名称	院外心停止患者における胸骨圧迫関連胸郭損傷の年齢群別比較研究
総研究期間	研究機関の長の許可日　～　2027 年　3 月　31 日
試料・情報の利用を開始する予定日	2026 年 10 月 21 日
研究の対象	2021 年 1 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日までに､病院到着前に胸骨圧迫を受け、当院救命救急センターに搬送された 18 歳以上の外傷によらない院外心停止の患者さんのうち、胸骨圧迫後に胸部 CT（死亡後の CT を含む）を撮影された方。心拍が再開したかどうかは問いません。
研究の目的	心停止の患者さんに行う胸骨圧迫は救命に不可欠ですが、肋骨や胸骨などの骨折を伴うことがあります。本研究では、18～79 歳の方と 80 歳以上の方で、胸郭の骨折の頻度、部位や形を比較し、蘇生後の損傷評価や教育に役立てることを目的とします。
研究の方法	すでに診療で得られた診療録、救急搬送記録および CT 画像を確認し、年齢群別に胸郭の骨折を比較する後ろ向き観察研究です。対象は約 350 例を予定しています。研究のために新たな検査、採血や治療を追加することはありません。情報を利用する研究者は､当院救命救急センターの山本蓮および茅田洋之です。
研究に用いる試料・情報の種類	試料：使用しません。 情報：診療録、救急搬送記録、CT 画像・所見、年齢、性別、身長、体重、心停止の原因、目撃の有無、胸骨圧迫などの蘇生処置の内容・時間、心拍再開の有無、胸郭の骨折の有無・部位・形、生存退院の有無　等
個人情報の取扱い	氏名、住所、診察券番号など、患者さんを直接特定できる情報を解析用の情報から削除し、研究用の番号を付けます。研究用番号と患者さんを照合する対応表は、研究責任者が解析用情報とは分けて当院内で管理し、外部に提供しません。CT 画像の識別情報も削除します。成果を学会や論文で発表する際に、個人を特定できる情報は公表しません。情報の利用を希望されない場合は、患者さんまたは代理人の方から下記へご連絡ください。お申し出により診療上の不利

	益を受けることはありません。すでに個人を特定できない集計結果となった場合や公表済みの成果については、撤回に対応できない場合があります。
お問い合わせ先	＜当院の連絡先＞ 地方独立行政法人　堺市立病院機構　堺市立総合医療センター 所属：救命救急科 研究責任者：山本　蓮 住所：大阪府堺市西区家原寺町１丁１番１号 TEL：072-272-1199(代表)

作成日：西暦 2026 年 10 月 1 日（ 2 版）